

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|----------------------------|---|---------|
| 2013 | | 浄土真宗本願寺派 | 特定非営利活動法人京都自死・自殺相談センター | 応急仮設住宅居室訪問活動に係るボランティア養成講座の開催。電話相談で培った、対人支援において大切な姿勢や心得などを、ロールプレイを中心とした体験学習の形式で提供。これまでに、仙台市・陸前高田市で8回実施し、のべ103人が受講。 | 250,000 |
| 2013 | | 浄土真宗本願寺派 | 特定非営利活動法人 JIPPO | 2013年7月28日～8月1日「子どもたちの野外活動を応援します～京都の自然と歴史に触れる夏休み」開催 会場：京都府立ゼミナールハウス、浄土真宗本願寺派山科別院、聞法会館 対象：南相馬市の小中学生とその保護者 定員30名 | 250,000 |
| 2013 | | 真宗大谷派 | G・ふんだりーか | 東日本大震災後、復興支援のためのチャリティーライブ、福島県の幼稚園・仮設住宅への訪問ライブ（これまで3回実施）、福島県の子どもたちの一時保養事業への参画、本山での「東日本大震災復興支援子どもをつどいin東本願寺」の出演、福島の子どもたちの言葉を歌詞にのせた「テツナギマーチin東本願寺」（CD）の販売収益の全額を被災地支援として活用するなど、活動は多種多様。 | 165,000 |
| 2013 | | 真宗大谷派 | 真宗大谷派山陽教区備後組 | 2013年7月26日～30日「福島の親子保養in神石高原町2013」開催 会場：広島県神石郡神石高原町時安5020-4 サンワの森ログコテージ 対象：福島在住の子供のいる家族 10家族 | 165,000 |
| 2013 | | 真宗大谷派 | SVP(真宗大谷派宗務所ボランティアプロジェクト) | 2011年12月より、岩手県釜石市を中心にボランティア活動（炊き出しや現地方との交流）を行っている。年間2～3回の活動为目标に、これまで6回の活動をし、延べ70名が参加している（保養事業等への参加等を含む） 2011年12月、2012年3月、2012年4月、2012年5月、2012年9月、2013年4月の計6回被災地を訪問 ※2013年4月5日の真宗本廟における教如上人400回忌法要子どもをつどいにおいてブースを設け、活動した | 165,000 |
| 2013 | | 真宗出雲路派 | terraねっと福井 サマーキャンプ実行委員会 | 福島の子ども達を対象に、放射能被爆の心配をしなくてすむ福井の地で夏休みを過ごしてもらおう保養事業を行った。（2013年7月23日～29日） 今年度は福井市麻生津地区にある徳雄集落改善センターと近隣寺院を主会場とした。 出雲路派に属する実行委員（常照寺坊守、長慶寺副住職）は期間中の安全管理（メンタルケア含む）と食事調理を担当した。 | 250,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|---|---|---------|
| 2014 | | 浄土真宗本願寺派 | 特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター | 応急仮設住宅居室訪問活動に係るボランティア養成講座の開催。電話相談で培った、対人支援において大切な姿勢や心得などをロールプレイを中心とした体験学習の形式で提供。これまでに、仙台市、陸前高田市・大船渡市で12回実施し、のべ145名が受講。 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗大谷派 | 真宗再耕の会 | 被災地から距離的に遠隔地にある鹿児島教区において、何よりもまず現地の人々との交流を続けることを大切にしつつ、彼らの声を聞き、御同朋としてのつながりを確認なものとしていくための活動を行う。 ①鹿児島へ招待しての親子保養事業 ②現地へ伺っての学習・交流事業 ③物資・義援金などの勧募事業 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗大谷派 | 放射能から子どもを守る会・ 日豊（福岡・大分） | 福島第一原発の放射能漏れによる汚染により、避難する家族を受け入れる。特に影響が強い子どものいる家族を優先している。一時滞在所に住んでもらい、その後移住先を決定する。（一泊）交流会を年に3～5回開催。30～70名の参加者（スタッフ含む）あり。 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗大谷派 | SVP(真宗大谷派宗務所ボランティアプロジェクト) | 2011年12月より、岩手県釜石市を中心にボランティア活動（炊き出しや現地の方々との交流）を行っている。年間2～3回の活動为目标に、これまで6回の活動をし、延べ70名が参加している（保養事業等への参加等を含む） 2011年12月、2012年3月、2012年4月、2012年5月、2012年9月、2013年4月の計6回被災地を訪問 ※2013年4月5日の真宗本廟における教如上人400回忌法要子どものつどいにおいてブースを設け活動。 ※2013年9月、2014年9月に東北3教区子どものつどいにボランティアとして参加。 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗大谷派 | 福島子ども保養基金 （事業名：秋田でのんびり わくわく保養プロジェクト！） | 福島県在住の子どもたちを秋田県へ招き、一時的にでも福島から離れてもらい、安全な場所でのびのび室外活動を中心に過ごしてもらい「保養」支援の取組。年に3回、春・冬（5泊6日）・夏（11泊12日）に実施している。又夏の保養では期間中、母親たちの為に全国で活躍中の放射線専門家や測定室運営代表者、医師などを講師に招き、学習会兼相談会を開催している。 他には西日本を主にベクレルフリーの食材を福島のご家庭へ送る支援も行っている。月一程度で西日本人たちに無償で送ってもらっている。 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗大谷派 | 真宗大谷派奥羽教区 ボランティア有志の会 | 岩手県宮古市、山田町、大槌町にて炊き出しや仮設住居・集会所での法話会等を月1回～2回程行っている。 | 500,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|--------------------------|---|---------|
| 2014 | | 真宗大谷派 | 夏休みこども演劇合宿 inこまつ実行委員会 | 福島県などの被災地に住む小学生・中学生を対象に10名程度募集し保養合宿を行っている。同行可能な学生ボランティアも募集している。1週間お寺で生活し、演劇の発表を目標としたプログラム。これまで2013年8月、2014年8月と2回開催。合宿中、希望者に甲状腺検査ができるよう小児科と連携している。地元の方々に協力をお願いしている。食事・食材の提供などほとんど寄付で事業を行っている。合宿後、定期的に参加者へ安全な野菜を送っている。 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗大谷派 | 放射能測定室 こうせんぼう | 主に福島県飯舘村の親子を支援している。 2011年4月、子どもと妊婦の早急な避難のため「いいたて子どもを守る会」に215万円送る。その後定期的にフルーツ等を送る。 2012年10月カンパにより放射能測定器を導入。飯舘の親子に安全な食材を送っている。また意向により石川の魚を買い取り送っている。(送料は測定室負担) 2014年1月、代表が福島へ出向き、日常的な食材の状況を調査。「守る会」に参加。7月石川にて交流会(保養)を実施。 | 500,000 |
| 2014 | | 真宗誠照寺派 | さばcanの夏 2014実行委員会 | 福島の子ども対象に、放射能汚染の心配がない福井にて7泊8日の保養活動を実施。参加者22名+保護者と乳幼児4名。会場は前半4泊を誠照寺、後半3泊を福井市鮎川町西養寺。誠照寺においては会館内台所や各研修室、備品等を全面的に支援提供し、毎朝の勤行(内仏間)や御堂等参拝、紙芝居法話、及び婦人会等による賄を実施した。 | 500,000 |
| 2015 | | 浄土真宗本願寺派 | 特定非営利活動法人 JIPPO | 事業名：東日本大震災復興支援「菜の花プロジェクト」 イベント名：お花見会 実施日：2015(平成27)年5月18日(月) 実施場所：福島県南相馬市小高区蛸沢 目的：東京電力第一原子力発電所事故により放射線汚染の被害を受けた被災地の農地再生と農業復興を図る | 100,000 |
| 2015 | | 浄土真宗本願寺派 | 新潟教区有志ボランティア | ・仮設住宅で暮らす被災者支援を目的としたごはん(新潟米)の炊き出し。 北海道教区空知南組との合同。 【1日目】福島県伊達郡川俣町東福沢坊の入「福沢多目的集会所」 【2日目】岩手県上閉郡大槌町大ケロ1丁目5-5「大槌町多目的集会所」 | 40,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|---------------------------|---|---------|
| 2015 | | 浄土真宗本願寺派 | TERRAねっと福井&さばcans | 福井県内もしくは自主避難の子どもの対象に、放射能汚染の心配がない福井の地にて7泊8日の保養活動を実施。参加者21名（内幼児、保護者各1名）。会場は前半4泊を福井市徳尾町禅林寺、後半3泊を同鮎川町西養寺。また活動場所に福井市浄福寺、越前市高善寺を使用。毎朝勤行、黙想、掃除に始まり、宿題のほか海水浴や地の方との交流を実施。地元の食材の食事等。 | 500,000 |
| 2015 | | 真宗大谷派 | 夏休み子ども演劇合宿in小松実行委員会 | 「夏休み子ども演劇合宿in小松（2015/8/16～22）」を開催。福島県などの被災地に住む小学生・中学生を対象に10名程度募集し保養合宿を行っている。同行してくれるボランティアも募集。1週間お寺で生活し、演劇の発表を目標としたプログラムにしている。これまで2013・2014・2015の8月に計3回開催。また、合宿中希望者に甲状腺検査ができるよう小児科と連携している。地元の方々に協力をお願いし、食事・食材の提供をほとんど寄付で行っている。合宿後は参加者に野菜等を送っている。 | 310,000 |
| 2015 | | 真宗大谷派 | 放射能測定室こうせんぼう | 主に福島県飯館村から福島市へ避難している親子15世帯に安心・安全な食材を届けている。 2012年10月、カンパにより放射能測定器を導入。毎月1月、石川の農家が作った野菜を無料で送付。また、意向により石川産の魚や卵を買い取り（送料は当測定室負担）。他、交流会や学習会、上映会を実施。 | 150,000 |
| 2015 | | 真宗大谷派 | SVP(真宗大谷派宗務所ボランティアプロジェクト) | 真宗大谷派宗務所員有志による東日本大震災被災地でのボランティア活動を行っている。内容は、被災地での炊き出し（現地での交流）、真宗大谷派が主催する保養事業へのボランティア参加、清掃活動、青空市場への出品等。今年度は「3教区子どものつどい（2015/9/12～13）」にボランティア参加する予定だったが、急遽中止となったため後片付け等残作業のために仙台にて活動を行った。来年度は、春に被災地での炊き出し、夏に保養事業へのボランティア参加を予定。 | 240,000 |
| 2015 | | 真宗大谷派 | 真宗大谷派 岡崎教区六ッ美組 | 被災地仮設住宅での炊き出しを中心としたボランティア活動。（2015/4/29～5/1） | 170,000 |
| 2015 | | 真宗佛光寺派 | NPO法人殿下未来工房 | 放射能のため今なおストレスの多い環境で暮らしている福島県の子どもたちを対象に、海や山でのびのびと子どもらしい夏休みを過ごしてもらうことを目的として活動している。 2011年の震災の年から継続して一夏に2回実施しており、今年で5年目、計10回を数える。幼児を連れた親子には空き家で自炊してもらい、小中学生にはホームステイしてもらうなど、費用を抑えつつ、地域に密着した内容の濃いものになっている。 | 500,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|---------------------|---|---------|
| 2016 | | 浄土真宗本願寺派 | 山陰教区青年僧侶の会 楽法会 | 被災者に寄り添うことを目的に、傾聴ボランティア活動「茶話会」を実施。茶話会の前には、勤行を行う。お茶・お菓子を食べながら被災者が話したい話をして、悩みなどを打ち明けることによって少しでも気持ちが楽になればと思い活動している。 | 112,960 |
| 2016 | | 真宗大谷派 | 福島子ども保養基金 | 原発事故の影響で、被ばくと屋外活動の制限を強いられている福島県の子どもたち（親子）を秋田県の自然豊かな地域に招いて、10日間以上の保養をしてもらう活動。福島ではできなくなってしまった海水浴・川遊び・山遊び・農業体験など、自然に触れて学ぶ活動を思い切りしてもらった。毎年、講師を招いての被ばく対策学習会を開き、子どもも親も自ら身を守るための学びもしている。母親たちの健康相談会も実施。 | 500,000 |
| 2016 | | 真宗大谷派 | 放射線測定室こうせんぼう | 主に福島県飯館村から福島市へ避難している親子15世帯に安心・安全な食材を届けている。 2012年10月、カンパにより放射能測定器を導入。地元で購入した培養土や食品、会員の持ち込んだ食材など測定し、会報で報告している。毎月1月に石川の農家が作った野菜を無料で送付。また、希望により県内産の魚や卵を有料（送料は当測定室が負担）で送付。その他、交流会、上映会、学習会など実施。 | 37,008 |
| 2016 | | 真宗大谷派 | 大谷派災害ボランティアネットワーク福井 | 福島より関東に自主避難されている母子家族を対象に、母子共に心身リラックスしていただく、特に母子避難家族は働いているお母さんが多くて夏の保養事業には参加しづらいということでGW期間中ならお休みが取れやすいと企画した。参加者は2家族8名。宿泊会場は福井市鮎川町西養寺（大谷派）を使用。 夏の保養に比べ期間も短く、思いっきり遊ぶというよりもゆったりとした時間を過ごしてもらおうと、日中はあまり詰め込まない日程を心掛けた。期間中、東別院での講演会や災害ボランティア学生連盟との意見交流会があり、子どもと大人が分かれて行動した時間も多かった。 | 150,000 |
| 2016 | | 真宗大谷派 | TERRAねっと福井&さばcans | 福井県内もしくは自主避難の子どもを対象に、放射能汚染の心配がない福井の地にて7泊8日の保養活動を実施。参加者12名。会場は前半4泊を福井市徳尾町禅林寺。後半3泊を同鮎川町西養寺、内1泊は近隣にてホームステイ。毎朝勤行、ミニ黙想、掃除から午前中は原則宿題、午後は各活動。地元の方との食事会、地区夏祭りに参加。大型バス送迎を大谷派リフレッシュキャンプと合同で手配。 | 500,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|---------------------|--|---------|
| 2016 | | 真宗佛光寺派 | NPO法人殿下未来工房 | <ul style="list-style-type: none"> ・7/25～8/9にかけて、被災した子どもたちを招待するイベントを行った。Part1、Part2あわせて83名の参加者となり、寺も活動の場所や宿泊の場所として大きな役割を果たした。また今年は熊本地震で被災した子ども達も若干名招待。 ・10月から11月にかけて、被災地支援に活用するために地区内の空き家を改修。被災者が訪れた時の宿泊場所としてはもちろん、ボランティアスタッフの拠点としても活用すべく、建築組合福井ブロックの皆さんの力を借り、11月末に竣工式を迎えることができた。 | 500,000 |
| 2017 | | 浄土真宗本願寺派 | 震災支援ネットびんご | 福島県飯舘出身の親子10人3泊4日のホームステイ活動6回目 | 340,000 |
| 2017 | | 浄土真宗本願寺派 | 東陽組 東北支援の旅 | 東陽組及び組内寺院が東北大震災以後、毎年物資支援とその活動の輪を広げてきた。また被災寺院より東陽組に講師としてお招きし、僧侶仏婦総代研修を行い被災状況を宣布し活動を確立した。 この度、七回忌法要にあたり東北教区教務所長様ご臨席、岐阜別院ご輪番ご善師、岐阜教区雅楽会の協力でお勤めした。その際には東陽組内から寄せられたご懇志や物資を被災者の方々へお届けした。 | 500,000 |
| 2017 | | 真宗大谷派 | 福島こども保養基金 | 福島のこどもたちの保養支援、被ばく支援対策として、外遊び、自然体験、学習会など | 500,000 |
| 2017 | | 真宗大谷派 | TERRAねっと福井&さばcans | 福島県内及び自主避難の子どもを対象に放射能汚染の不安から離れた場所で7泊8日の保養活動を実施。参加119名。前半4泊を福井市山里の禅林寺。後半は越前海岸鮎川町（内1泊ホームステイ）の西養寺。毎朝は勤行、黙想、掃除から宿題の他、座禅体験、飯盒炊飯、海水浴、地元の方との交流等。地区祭りに北高和太鼓部。 | 500,000 |
| 2017 | | 真宗大谷派 | 大谷派災害ボランティアネットワーク福井 | 福島より関東へ自主避難されている母子家族を対象に、母子共に心身リラックスしていただく、特に母子非難家族は働いているお母さんが多くて夏の保養事業に参加しづらいということでゴールデンウィーク期間中の保養企画は、今年2年目。参加者は2家族（子ども5名、母親2名、大学生1名）の8名（子どもが多い為東京からの引率者もお願いした。）宿泊会場は福井市鮎川町真宗大谷派西養寺を使用。夏の保養に比べ期間も短く、思いっきり遊ぶというよりもゆったりとした時間を過ごしてもらおうと、日中はあまり詰め込まない日程を心がけた。期間中、東別院での講演会や夏の保養事業に協力していただける方への交流会もあり、子どもと大人が分かれて行動した時間も多かった。期間中は講演会や交流会等、子どもを被ばくから守ろうと孤軍奮闘する大人（母親）現実や、当時中学生であり、現在は東京で学生として過ごす方への思いを聞く時間が多く持てた。今年3月で住宅支援を打ち切られたその後の避難先での学校生活や普段の暮らしぶり等、スタッフにとっては貴重な学びの機会となった。 | 170,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|----------|------------------------------|--|---------|
| 2017 | | 真宗佛光寺派 | NPO法人殿下未来工房 | 東日本大震災で被災した福島県の子供たち、並びに熊本地震で被災した熊本市の子供たち。自然豊かな田舎に招待し、ホストファミリーの愛情あふれるおもてなしを受けながら、日頃できない野性味あふれる遊びをのびのびと行ってもらおう目的で継続して開催しています。過疎地のため、年々スタッフが減少し苦しいところですが、来年もなんとか継続したいと考えています。 | 500,000 |
| 2018 | 前期 | 浄土真宗本願寺派 | 岐阜教区勤式儀礼振興会 | 広島県安芸郡坂町地区(安芸教区 西昭寺)にて作業実施。 <作業内容> ・家屋に堆積した土砂の撤去 ・浸水箇所の内装撤去 ・接近する台風20号対策 等 | 80,000 |
| 2018 | 前期 | 真宗大谷派 | 復興支援センター「うきのわ」 | ①熊本地震被災地におけるボランティア活動 4/14: 傾聴ボランティア 7/22: 炊き出し ②熊本地震被災地の子どもを対象とした保養事業 4/14: 被災地の子どもを招いての復興祭 9/30: 被災地の子どもを招いての防災 ③Dayキャンプ | 260,000 |
| 2018 | 前期 | 真宗大谷派 | NPO法人Faithful Friend Society | 北九州豪雨・大阪府北部地震・西日本豪雨・台風21号等の災害におけるボランティア活動 | 100,000 |
| 2018 | 前期 | 真宗佛光寺派 | NPO法人殿下未来工房 | 7/31～8/8(8泊9日)、福島県の子どもたちを招く保養事業 ※過去の助成額: H27年度～H29年度 各50万円 | 400,000 |
| 2018 | 後期 | 真宗大谷派 | 福島こども保養基金 | 福島の子どもたちを放射能から守るための保護活動 海水浴・つり・山あそびなど、福島では不安でできないことを秋田県で体験してもらっている。 3.11の悲しみを未来に伝えていく活動にもなっている。 | 500,000 |

| 年度 | 区分 | 推薦宗派 | 団体名 | 活動内容 | 助成金額 |
|------|----|--------|---------------------|--|---------|
| 2019 | 前期 | 真宗大谷派 | 復興支援センター「うきのわ」 | ①被災地におけるボランティア活動 4/13：炊き出し・傾聴ボランティア 4/28：炊き出し 8/24：炊き出し・傾聴ボランティア ②被災地の子どもを対象とした保養事業 4/13：被災地の子どもを招いての防災・減災フェスタ 4/28：被災地の子どもを招いての災害訓練BBQ ③8/24：被災地の子どもを招いての夏祭り | 260,000 |
| 2019 | 前期 | 真宗大谷派 | TERRAねっと福井&さばcans | 放射能の不安から様々な制限を受けざるを得ない子ども達に福井の自然を満喫し、リフレッシュしてもらうことを目的として活動 7/22-7/29：ふくしまこどもサマーキャンプin福井 | 500,000 |
| 2019 | 前期 | 真宗大谷派 | 大谷派災害ボランティアネットワーク福井 | 自主避難が続き、様々なストレスにさらされている子ども達に福井の自然を満喫し、リフレッシュしてもらうことを目的として活動 4/27-4/30：2019ふくふく春のミニキャンプ | 200,000 |
| 2019 | 前期 | 真宗佛光寺派 | NPO法人殿下未来工房 | 7/30～8/7(8泊9日)、福島県の子どもたちを招く保養事業 | 440,000 |